

プランクトン調査結果のお知らせ

平成26年6月29日、午前9時から野見湾のプランクトン調査を行いましたので結果をお知らせします。

検鏡の結果、有害種のカレニア・ミキモイが最高で32,400cells/ml確認され、被害が想定される濃度を越えていました。すでに被害が出ているようですので、餌止めを行うなど十分に慎重な養殖管理をお願いします。

※当該プランクトンは上下に移動(日周鉛直移動)するため、午前中に潮色が良くても午後に着色する可能性があります。また、潮流や風でも移動し、集積する可能性があります。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

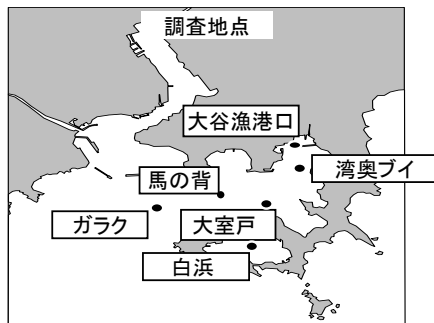
表 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ミキモイ
湾奥ブイ 透明度: 2.8m	0m	142
	2m	5,350
	3m	32,400
	5m	1,633
大室戸 透明度: 3.1m	0m	33
	2m	430
	3m	6,050
	5m	4,400
白浜 透明度: 4.3m	0m	12
	2m	8
	4.2m	5,475
	5m	13,350

		カレニア・ミキモイ
馬の背 透明度: 3.7m	0m	13
	2m	217
	3.6m	7,100
	5m	2,760
ガラク 透明度: 5.5m	0m	15
	2m	85
	5m	1,110
	8m	1,680
大谷漁港口 透明度: 3.3m	0m	101
	2m	515
	3m	2,340
	5m	1,700

漁業被害が想定される細胞密度

●カレニア・ミキモイ(へい死): 数百~数千cells/ml



「プランクトン調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>